

いわて県民計画（2019～2028）第3期アクションプランの策定方針等について

1 趣旨等

(1) 策定の趣旨

長期ビジョンの実効性を確保するため、第3期アクションプランの計画期間において、重点的・優先的に取り組むべき政策や、その具体的な推進方策を明らかにするもの。

(2) 計画期間

令和9年度（2027年度）～令和10年度（2028年度）

(3) 構成

長期ビジョンの内容及びこれまでの構成等を踏まえ、以下の4プランで構成。

・復興推進プラン ・政策推進プラン ・地域振興プラン ・行政経営プラン

2 策定にあたっての基本的な考え方

- 第1期及び第2期までのアクションプランの評価結果や東日本大震災津波からの復興の進捗、人口減少の進行など社会経済情勢の変化等を踏まえ、策定する。
- 地域内外の方、市町村、企業、団体など、様々な主体から広く意見を伺う。特に若者・女性の意見を聴取・反映していく姿勢を重視。
- 政策推進プランにおいては、岩手の強みを伸ばす観点や底上げの観点から、10の政策分野ごとに今後2年間で特に強化すべき事項を明確にし、実効性あるプランの策定に取り組む。

3 策定スケジュール

時期	主な内容
令和8年5月～	第3期アクションプラン期間中に取組を強化すべき事項等について、各種団体や審議会等からの意見聴取を実施
令和8年9月	第113回岩手県総合計画審議会にて、策定状況（特に強化すべき事項案等）を説明
令和8年11月	第114回岩手県総合計画審議会にて、素案を説明
令和8年11月～12月	素案に対するパブリック・コメント、地域説明会、各種団体や審議会等からの意見聴取を実施
令和9年2月	第115回岩手県総合計画審議会にて、最終案を説明
令和9年3月	第3期アクションプランの策定・公表

1 いわて県民計画（2019～2028）の構成

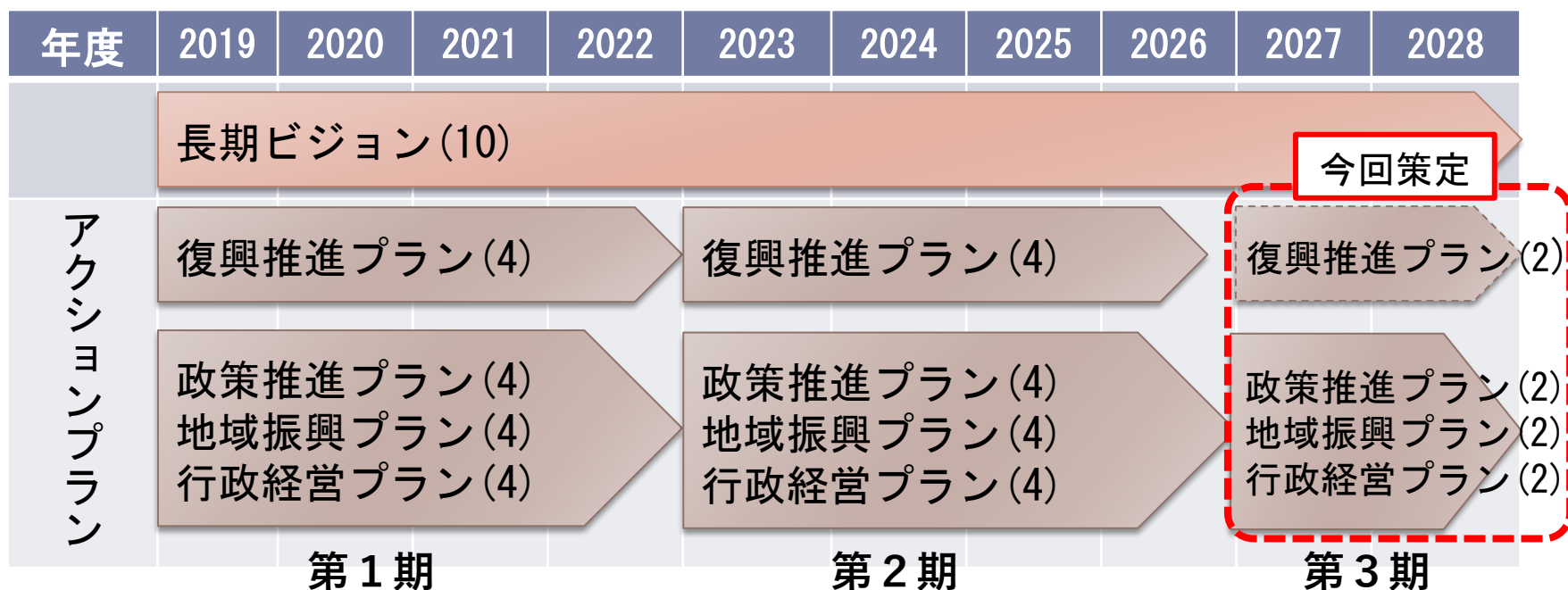
長期 ビジョン

長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの
[計画期間：2019年度から2028年度までの10年間]

アクション プラン

長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策を盛り込むもの

復興推進プラン **政策推進プラン** **地域振興プラン** **行政経営プラン**



2 いわて県民計画（2019～2028）の理念

- 県民一人ひとりがお互いに支えながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めること
- 地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持ち、共に支え合いながら岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくこと
- 社会的に弱い立場にある方々が孤立することのないように、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点に立った取組を進めること

3 基本目標

**東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

4 いわて県民計画（2019～2028）政策推進の基本方向

主観的幸福感に関する12の領域をもとに、「健康・余暇」から「自然環境」までの8つと、これらを下支えする「社会基盤」「参画」を加えた10の政策分野を設定。

各政策分野に、幸福に関連する客観的指標（いわて幸福関連指標）を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開。

I 健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手

III 教育

学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

IV 居住環境・コミュニティ

不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結びつきの中で、助け合って暮らすことができる岩手

V 安全

災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手

VI 仕事・収入

農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

VIII 自然環境

一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

IX 社会基盤

防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手

X 参画

男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

人口減少問題に立ち向かうため、第2期政策推進プランにおいて
「人口減少対策」に最優先で取り組むこととし、
4年間に取組を強化すべき項目を4つの重点事項として明示

① 自然減・社会減対策

性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、
結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住施策を強化します

② G X（グリーン・トランスフォーメーション）の推進

G Xを推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指します

③ D X（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

D Xを推進し、デジタル社会における県民の暮らしの向上と産業振興を図ります

④ 安全・安心な地域づくり

災害や新興感染症など様々なリスクに対応できる安全・安心な地域づくりを推進します